

かがやく渋谷

安心して生活できるまち、渋谷実現のために！ 自由民主党議員団は全力で取り組みます

我が会派の提言で実現！

渋谷駅周辺にごみ箱を設置へ

ごみのポイ捨てに過料徴収
繁華街のごみ箱設置を義務化

「きれいなまち渋谷をみんなでつくる条例」の改正により、今年度からごみのポイ捨てに対する規制強化が始まり、過料徴収（2,000円）が始まった6月1日には10件の徴収があったと各種報道で大きな反響がありました。また、渋谷駅・原宿駅・恵比寿駅の半径500m以内で営業する飲食料販売事業者へのごみ回収容器設置についても義務化されました。



渋谷駅周辺のごみの様子

まちの美化に向けて区内外から期待の声が寄せられる一方、「店舗側ばかりに回収容器の設置負担を求めている」「ごみ箱がそもそもない」との意見もあり、我が会派でもごみ箱の設置に向けた提言を続けてきました。

東京都で新たな補助制度がスタート

インバウンド拡大により、まちの美化や治安対策として本区では年間数億円規模の費用

を負担しています。そこで昨年12月の第4回定例会にて我が会派が主導し、都が徴収する宿泊税の見直しに合わせ、特別区が行う美化や治安対策費の支援を求める意見書を提出したところです。それを受け、本年4月に都が「TOKYOクリーンアップムーブメント」を公表し、スマートごみ箱の設置について導入費の5分の4と3年間の運用費の一部を支援する方針を示しました。

渋谷駅周辺にごみ箱を設置する方針へ

本年6月に行われた第2回定例会での我が会派の代表質問において、都の補助制度を最大限活用してごみ箱を設置し、まちの美化を推進するよう提言しました。それを受けて区長は、インフラ投資を前倒しして、今年度内に渋谷駅周辺にスマートごみ箱を設置する方針を示しました。

渋谷区議会自民党は、引き続き安全・安心なまち・渋谷の実現に向け、議員団一同全力で取り組んでまいります。



※渋谷フクラスに設置されているスマート「ごみ箱」「SmaGo」。太陽光発電・蓄電機能を備え、たまったゴミを約1/5に自動圧縮するとともに、通信機能によりゴミの集積状況を把握して効率的なごみの回収作業が可能に。

「未来の学校」2校目となる西原キャンパスが
スポーツセンターの敷地内にオープンします

渋谷区立小中学校の建替えに伴う2校目の仮設校舎として、夏休み明けの本年8月31日に「西原キャンパス」が開校します。

同キャンパスでは「未来の学校」のコンセプトのもと、幅広の廊下を利用して教室と切れ目なく繋がるラーニング・コモンズを整備することで、主体的・対話的な学びを日常的に展開します。また、昨年開校した「青山キャンパス」の運用で得られた知見を学習環境や共用空間の活用などに反映し、より円滑で効果的な学校運営を目指します。

初めに利用する
代々木中学校では、これまで「スポーツ等部活動強化校」としての「特色」を活かした取り組みを展開してきましたが、今後はスポーツセンターにある環境資源も活用し、スポーツと先端技術（テクノロジー）を組み合わせた学びに発展させます。運動解析ツールやドローンなどを活用してスポーツの動きをデータ分析すること等を通じ、子どもたちの科学的なものの見方や考え方を育成していきます。

